

令和5年度  
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

1 日 時	令和5年7月25日(火) 午後1時30分～午後3時30分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	(1) 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について (2) 各施策についての点検・評価
4 資 料	次第、座席表、出席者名簿、点検評価委員会審査日程、令和5年度教育委員会の点検・評価報告書(案)、令和4年度教育行政方針、第1回さいたま市教育行政点検評価委員会結果について
5 出 席 者	別紙出席者名簿のとおり
6 欠 席 者	0人
7 議 事	<p>&lt;開 会&gt; 13時30分開会</p> <p>※会議を非公開とはしないことを決定した。傍聴者なし。</p> <p>議題(1) 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について 事務局から、第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について説明後、各委員へ内容等に誤りがないか確認を求めた。</p> <p>※意見なし</p> <p>事務局の原案のとおり、了承された。</p> <p>議題(2) 各施策についての点検・評価 令和5年度教育委員会の点検・評価報告書「Ⅱ 教育委員の活動状況(令和4年度)」、「Ⅲ 点検・評価の結果(令和4年度事業対象)」において、「1 教育DXによる学びの自律と個別最適化の実現」の9事業、「4 人生100年時代を輝き続ける力の育成」の11事業について、各所管課から説明を行い、各委員へ意見を求めた。</p> <p>【説明】 [Ⅱ 教育委員の活動状況(令和4年度)] (教育総務課) 【主な意見及び質疑】 なし</p> <p>【説明】 [Ⅲ 点検・評価の結果(令和4年度事業対象)] &lt;1 教育DXによる学びの自律と個別最適化の実現&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育DXに向けた「さいたま市GIGAスクール構想」の推進</li> <li>(2) 全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現</li> <li>(3) 学びの自律化に向けたアクティブ・ラーニングの推進</li> <li>(4) 「さいたまSTEAMS教育」の推進</li> <li>(5) SDGsの実現を目指した教育の推進</li> <li>(6) スポーツを科学する生徒の育成</li> </ol>

令和5年度  
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- (7) 企業へのビジネス提案を取り入れた問題解決型学習「さいたまエンジン」の推進
- (8) 金融経済教育における探究的な学びの充実
- (9) 「個別最適な学び」を実現するデジタル教科書の活用

◆教育委員会の自己評価

< 4 人生100年時代を輝き続ける力の育成 >

- (1) 新しい時代に向けた視聴覚ライブラリー運営の推進
- (2) さいたま市民大学事業の推進
- (3) 子どもの学び・親子の育ちの支援の充実
- (4) 図書館を通じた生涯学習環境の整備
- (5)-1 博物館・美術館・科学館における魅力ある生涯学習環境の整備（博物館）
- (5)-2 博物館・美術館・科学館における魅力ある生涯学習環境の整備（美術館）
- (5)-3 博物館・美術館・科学館における魅力ある生涯学習環境の整備（科学館）
- (6) 次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用
- (7) 生涯学習におけるデジタルコンテンツの充実
- (8) 生涯学習人材バンクによる学習機会と活躍の場の充実
- (9)-1 生涯学習施設それぞれの特色を生かした学校との連携（博物館）
- (9)-2 生涯学習施設それぞれの特色を生かした学校との連携（美術館）
- (9)-3 生涯学習施設それぞれの特色を生かした学校との連携（科学館）
- (10) 公民館・図書館施設リフレッシュの推進
- (11) 公民館におけるデジタル化の推進

◆教育委員会の自己評価

【主な意見及び質疑】

< 1 教育DXによる学びの自律と個別最適化の実現 >

- 1 (1) 教育DXに向けた「さいたま市GIGAスクール構想」の推進  
(郡島委員)

- ・コロナ禍の短期間で整備されたことにより、現場の教員に負荷があったのではないかと各校に専任の支援員等の配置を検討してほしい。

(橋本委員)

- ・教職員のICT活用指導力の向上に係る研修等において、休業中の教員が参加するなど、休業後の復帰を見据えたサポート体制を整えるよう検討してほしい。

- 1 (2) 全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現  
(平澤委員長)

- ・学習スペースが91%となったとあるが、利用状況は活発なのか。

(指導1課長)

- ・活用状況の調査は行っていないが、学校の設置状況によって様々であると聞いている。

- 1 (3) 学びの自律化に向けたアクティブ・ラーニングの推進  
(平澤委員長)

- ・アンケートの集計はどのように行っているのか。教員の負担になっていないか。

令和5年度  
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(教育研究所長)

- ・子供のアンケートの数字は、全国学力学習状況調査の数字、もしくはさいたま市学力調査の時にやっている数字であって、特段そのためにアンケートを実施しているものではない。

1 (4) 「さいたま STEAMS 教育」の推進

(郡島委員)

- ・中学校の前段階でプログラミング的思考を教えることを評価したい。プログラミング教育においては、プログラミング言語を教えるのではなく、プログラミング的思考を育むことを重視してほしい。

1 (6) スポーツを科学する生徒の育成

(平澤委員長)

- ・アプリによる分析に頼りすぎると思考が疎かになることも考えられる。思考をしてからアプリで確かめる等、使い方を工夫してほしい。

1 (7) 企業へのビジネス提案を取り入れた問題解決型学習「さいたまエンジン」の推進

(平澤委員長)

- ・さいたまカップでの順位は、どのように評価されたのか。

(指導1課長)

- ・教育長や元教育委員、県内企業の社長などにより、5段階4項目で評価した。

1 (8) 金融経済教育における探究的な学びの充実

(平澤委員長)

- ・協力締結企業が1社のみであると偏りがあることが懸念されるため、複数企業との連携を検討してほしい。

1 (9) 「個別最適な学び」を実現するデジタル教科書の活用

(橋本委員)

- ・デジタル教科書の選定については、会議にかけているのか。

(指導1課長)

- ・採択されている教科書の会社のデジタル版を使用している。

(平澤委員長)

- ・デジタル書籍と紙の本を読んだ場合、紙の方が記憶に残りやすいということがある。紙の良さを残しながらデジタルの活用を進めてほしい。

その他

(平澤委員長)

- ・教員の働き方改革が叫ばれているにもかかわらず、事業数は増えている。教員の負担を減らしていく取り組みをさいたま市から国に発信するなど、積極的に教員の負担軽減に取り組んでほしい。

< 4 人生100年時代を輝き続ける力の育成 >

4 (3) 子どもの学び・親子の育ちの支援の充実

(橋本委員)

令和5年度  
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- ・公民館の講座や地区文化祭等における中・高生ボランティアの参加する事業が130事業とあるが、どういった事業に参加しているのか。

(生涯学習総合センター副館長)

- ・夏休み期間中の公民館主催講座で参加者と一緒にやっていただくなど。募集に関しては地域の公民館等が募集している。

4 (5) -1 博物館・美術館・科学館における魅力ある生涯学習環境の整備

(郡島委員)

- ・来場者数が伸びているのか、伸びていないのであればどういった取組を行ったのか。

(美術館副館長)

- ・展覧会により来場者数にばらつきがある。令和3年度は特にミーシャ展の人気があった。それに比べると令和4年度は、来場者数は伸びなかったが、地元の特化した展覧会を行ったことで、地域に関して新たな認識を持ったというようなアンケート結果もあり、地域への貢献はできたと捉えている。

(博物館長)

- ・特別展では30%程度伸びた。中高生を伸ばしたいという思いで企画したが、シニアが多かった。

(科学館長)

- ・昨年度は1万人程度増加した。令和5年度もコロナ禍明けで増加しており、特に夏休みのワークショップにより来場者が増加してきている。

4 (5) -1 博物館・美術館・科学館における魅力ある生涯学習環境の整備【博物館】

(郡島委員)

- ・YouTube への新規動画掲載が3編であるが、展覧会内容を配信することでさらに動画掲載数が増えるのではないかと。特別展において職員が解説して動画を撮影するなどの工夫を検討してほしい。

4 (5) -3 博物館・美術館・科学館における魅力ある生涯学習環境の整備【科学館】

(橋本委員)

- ・募集総数に対して、応募数が大幅に超えている事業について、対応を検討してほしい。

4 (6) 次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用

(平澤委員長)

- ・株数減少の調査について、外部に委託したのか。また、クラウドファンディングの達成具合はどうか。

(文化財保護課長)

- ・調査は、埼玉大学教授や専門家や業者に委託して実施している。クラウドファンディングの目標金額は当初100万円で、それだけ期待されていると捉えている。

(平澤委員長)

- ・クラウドファンディングの利用目的として、調査結果等をどのように公表していくのか。

(文化財保護課長)

- ・随時ホームページで掲載していく。

令和5年度  
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

4 (8) 生涯学習人材バンクによる学習機会と活躍の場の充実

(平澤委員長)

・「生涯学習フェスティバル」におけるワークショップはどのようなものを実施したのか。

(生涯学習振興課長)

・アート・文化、水彩画等を実施し、応募多数で充実していた。

4 (9) -2 生涯学習施設それぞれの特色を生かした学校との連携【美術館】

(平澤委員長)

・子どもたちへのアプローチとして「うらびい」の発行以外に、美術館への来場を増やす、美術に関心を持ってもらうための取組を検討してほしい。

4 (10) 公民館・図書館施設リフレッシュの推進

(平澤委員長)

・バリアフリーのトイレがない、エレベーターが無い時点で利用をあきらめてしまう人もいる。講座によって開催場所を変更するなどの工夫をしながら、施設のリフレッシュを進めてほしい。

4 (11) 公民館におけるデジタル化の推進

(郡島委員)

・公民館の Wi-fi 通信環境の整備について、10館とあるが、予算の面からか。

(生涯学習総合センター副館長)

・まずは、拠点公民館の10館に整備し、利用状況等を見て、今後拡大を検討していく。

その他

(郡島委員)

・動画サイトや SNS 等の活用について、再生数を伸ばすためにはフォロワー数を増加させる取組が重要である。シニア層など、各施設の動画サイトや SNS を閲覧しない新たな層に向けた取組を検討してほしい。

(平澤委員長)

・従来の行政的なアピールの仕方では若い人に届きづらいのではないかと。SNS 等の活用を推進し、多世代へのアピール方法を工夫してもらいたい。

(平澤委員長)

・動画サイト等を活用した講座について、いつでも見られるだけでなく、期間を区切った限定公開など、人を集めるための様々な方法を検討してもらいたい。

(郡島委員)

・動画サイト等を活用した展示について、パソコンで見るものよりリアルがよいのは明らかであるが、各施設に出向くことなくリアルに近い体験ができる工夫 (VR ゴーグルの活用等) により、コンテンツを充実させていくことを検討してほしい。

(平澤委員長)

・学びの内容が多様化していることで、学校の負担が増加し、学校運営が立ち行かなくなっている一歩手前の状況まで来ていると感じる。地域を巻き込んで運営していくことで学校の負担を減らしていく必要があり、その一翼を担ってもらうのが生涯学習施設では

令和5年度  
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

ないか。今後も多世代に向けて充実した内容のコンテンツや事業を展開してもらいたい。

<閉 会> 15時30分閉会

【問合せ先】 教育委員会事務局管理部教育政策室 829-1626

第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 出席者名簿

1 さいたま市教育行政点検評価委員 (敬称略)

職	氏名	役職等
委員長	(ひらさわ なこ) 平澤 奈古	元さいたま市教育委員
委員	(はしもと まさはる) 橋本 正晴	青少年育成さいたま市民会議常任理事
委員	(ぐんしま のりゆき) 郡島 典幸	さいたま市PTA協議会会長

2 各施策についての点検・評価に関する出席者

	氏名	役職
1	小出 博康	管理部 教育総務課長
2	藤田 昌一	学校教育部 参事(兼)指導1課長
3	神田 剛広	〃 参事(兼)高校教育課長
4	深津 健太郎	〃 参事(兼)教育研究所長
5	辰市 健太郎	生涯学習部 生涯学習振興課長
6	柴田 崇	〃 文化財保護課長
7	豊田 由香	〃 参事(兼)青少年宇宙科学館長
8	椿 奈美	〃 博物館長
9	酒井 浩志	〃 参事(兼)うらわ美術館副館長
10	中村 和哉	〃 参事(兼)生涯学習総合センター副館長
11	宮野 充	〃 中央図書館管理課長
12	中島 孝一	〃 中央図書館資料サービス課長

3 事務局

	氏名	役職
1	丹 能成	管理部 参事
2	田中 修	管理部 参事(兼)教育政策室長
3	瀧山 聡美	〃 教育政策室副参事兼室長補佐
4	大橋 和彦	〃 教育政策室副参事
5	辛嶋 美香	〃 教育政策室 主査